



サロンあべの

一九九一年九月三日第三種郵便物承認毎月(一・二・三・四・五・六・七・八)の日発行

〈サロン・あべの〉12月の出会い

韓国料理をいただきますせんか

韓国料理をいただきますせんか

平成23年12月3日(土)〈サロン・あべの〉は、「韓国料理をいただきますせんか」と題して、JR天王寺駅近くの天王寺ミオ10階「韓国料理 シジャン」において、サロンの昼食会を開催しました。参加者は1時、ミオ10階に集合。

この日のメニューは、石焼きビビンバ&ミニ参鶏湯セットと一品料理との組み合わせ。まず、石焼きビビンバ、ミニ参鶏湯、キムチ、生卵がセットで運ばれてきます。どちらも熱々です。それから豚キムチチヂミ等、次々と運ばれてきます。

鶏湯には鶏肉やナツメ、松の実などが入っており薬膳のような感じで透明のあっさりとしたスープ。柔らかい鶏肉をほぐしていただきます。豚キムチチヂミは、切り分けられており、生地がモチモチで程よいピリ辛触感を楽しみ、それぞれ本場に美味しくいただきました。

最初に、生卵を熱々の石焼きビビンバの中へ入れて、ゼンマイや大豆、もやしなどの具材とコチジャンをおもいきりかき混ぜます。そのかき混ぜたアツアツをフウフウしながら美味しくいただきました。また、ミニ参鶏湯には鶏肉やナツメ、松の実などが入っており薬膳のような感じで透明のあっさりとしたスープ。柔らかい鶏肉をほぐしていただきます。豚キムチチヂミは、切り分けられており、生地がモチモチで程よいピリ辛触感を楽しみ、それぞれ本場に美味しくいただきました。

お料理を楽しむ中、参加者同士が自己紹介をしました。久しぶりの方や初参加の方など、和やかに話が弾んでいきました。デザートには、ゆずシャーベットの、ドリンクには韓国茶の花梨茶か梅茶を選択。その間にもミニ福引き抽選会を行いました。

くじ番号の小さい方からご自身でプレゼントを選んでいただき、不思議にも各人にお似合いの品物が手元に届きました。そして、皆さんに今日の感想や今年の思い出を書いていただきました。

気になった天候は、良い天気となりました。多くの方にご参加いただき、熱々の韓国料理を堪能し、お腹も心も温まった〈サロン・あべの〉12月の出会いでした。

(参加者10名 山村貴司)



○参加者のメッセージ(①今日の感想、②今年の思い出)

磯山 幸枝

①ミオのビル自体初体験。韓国料理のチヂミ、参鶏湯、ビビンバも初賞味。とつても熱く寒い冷え切ったハートも温まり、家族的なざつくばらんなトークと共に料理は完食。ダイエットには程遠いですが、半日夢の様に過ごせて年の締めくくりに良い思い出が出来て感謝。カムサハムニダ

②3月に1年程の介護の末、父が亡くなり、色々大変な1年でした。

伊東 裕子

①申し込みをせず飛び入り参加で、現地集合にも関わらず、参加〆びして頂きありがとうございました。皆でしゃべりながら食べることは、とても元気をもらえます。ありがとございました。

②娘が二人共、結婚してしまったので、シヨックでした。

加賀谷 正

①ミオの10階というオシャレな所で食事ができて良かった。料理はチヂミが美味しかった。

②今年は震災の影響で7月8月9月は、木・金曜日が休みで、土・日曜日が出勤になり、家族で出かける日もズレましたが、(サロ

ン・あべの)の会合もズレて参加できませんでした。来年は、休日の曜日が電気不足で変更になることはないでしょう。

富田 慶子

①電動車いすで地下鉄に乗ったら、その車両に山村氏がいらした。内心ラッキー…。その後、山村氏の車いすについて行き、迷うことなく集合場所に到着。初参加のご夫妻は、区民センターでサロン紙を見て申し込んでくださったとか。初めての参鶏湯は、1人分ずつになっていて鶏肉が小ぶりであった。参加者が増えるという嬉しい誤算であったが、予約席はそのまま椅子を増やして肩を寄せ合い食事ができ楽しかった。

②東北大地震の支援として、近鉄のフープ広場で街頭募金に初参加。寒かったが、人々の善意に心はほっこり。特に並んでいる人全員の箱にカンパ下さった方がおられて、募金のやり方を学んだ気がした。

表谷 恵美子

①5〜6年ぶさたして、なつかしいお顔を拝見しながら、また初めてお会いした方とも楽しくおしゃべりしながら、美味しい韓国料理をごちそう様でした。ビビンバやチヂミは食べた事が有りましたが、参鶏湯は初めてで鶏の旨味が出てあっさりとして、

とても気に入りました。また、これを機会に毎月の集まりにも出来るだけ参加して、皆様とお会いしたく思います。カム サハムンダ

②母の介護が(毎週会いにゆかなくてはならなかったのですが、2週に1回で良いと言ってくれます。だから、タイミングが合えばサロンさんの集会に参加できそうです)一段落したというか、少し精神的に落ち着きが見えてきました。また、息子が結婚し、孫も出来、幸せな1年でした。

宮脇 起世子

①参加出来てよかったです。何やかやわかりませんが、いろんな事を勉強してゆきたいと思っています。

宮脇 二郎

②韓国料理、初めてです。おいしかったです。

①なかなか珍しい料理を頂き、和やかな会合に参加出来て、ありがとございました。

②意外な出来事の多い年で、1年を過ごしましたが、想定外の出来事に備えることの大きさを痛感しました。

山村 貴司

①久しぶりの方に会え、ボリュームのある石焼ビビンバをおいしくいただきました。

2011年もいろいろありましたね、2012年が元気のある年になりたいですね。

倭 栄司

①今年も終わり、1年が早いです。今年は体調が悪いので(サロン・あべの)に参加す

るのがあまりできなかった。で、12月の昼食会だけ出席させてもらいました。今年は大王寺のミオでやり、楽しかったです。なるべく(サロン・あべの)に出るようにします。

和田 生華(磯山幸枝様のヘルパーです)

②東北大震災、市長選、子供の大学入学、子供の旅立ち、異動、全てが思い出です。

他に「絆」などが思い浮かぶと思います。

り大切だと再認識させられた年でした。

美智子のこんな話

岸田美智子

「新春」今年も地域で「絆」を作っていこう!

みなさん、明けましておめでとござい
ます。

昨年は、日本の歴史に残る大災害の「3.11 東日本大震災」が起きました。1、5万人近い人が亡くなったり、この原稿を書いている現在でも、約3千人の方が行方不明です。昨年を表す言葉として考えてみると「帰宅難民」「想定外」「脱原発」などの

介護者との関係や環境の変化にストレスを感じ、緊張がよけいに高くなり、生活できないので、避難すらできない重度障害者の方々を知り、とつても心配になっています。私たち「あいえる協会」の職員も、数名ですが、ボランティアとして被災地に昨年行ってきました。この様な災害時には、日ごろから、地域での人間関係や活動が、何よ

うか?この様な大災害の時でも、避難生活さえできない私たちの仲間の障害者の人たちがたくさんいる事を、マスコミで知りました。原発事故で、放出された放射線の危険性が分かっていたながらも、避難できない仲間のことを知りました。生活を変えようと

増えてきていますし、在宅で両親と暮らしながら、何十年も外出したことがないという方で、その両親が介護できなくなり、他人介護になじめない課題を持たれたりするケースや、痰の吸引など医療的ケアが必要なケースなど、いろいろな困難ケースの相談が増えてきています。

でも、どのようなケースの相談にも、障害者自身の地域での自立生活を応援できる「まいど」でありたいと、メンバー一同、新たに決意しています。

今年もみなさん、よろしくお願ひします。

素人の仕事

もう五十をすぎた私が言う、ちよつと怪訝（げげん）な顔をされるかもしれないが、私はユーチューブというインターネットのサイトから聞ける音楽がかなり、いや正直いうと非常に好きなのである。

いったい誰がつくっているのかもわからない音楽が無数に流されている。作曲者の名前は明らかに偽名とわかる奇妙なばかりなのだが、それをたどっても本名はわからない。誰もそれを詮索しない。たぶん、それはそれらの曲が、すべて無料で流されているからだろう。

ある有名なシンガーソングライターが「音楽は、これからは職業にはならないかもしれない」と言っていた。ただで聞ける音楽がインターネット上にあふれているので誰もお金を出してCDなどを買おうとはしない。したがって、CD

を売って生活の糧とするということは難しくなるというのである。

無料で聴けるからといって、その質を疑ってはいけない。その水準はとても高い。プロと素人の差なんて、ほとんど感じない。むしろ外見や話題性だけで歌手になったりしている例が多いことを考えれば、音だけで勝負しているのだから、むしろこちらのほうが上だろう。

この質の高さを維持させているのは、圧倒的なその量である。無数にインターネット上にあげられていて、それを誰かが見つけ出し、繰り返し再生させることによって、その曲が（無数の曲のなかから）インターネット上で目立つようになる（そういう仕掛けがインターネットにはある）。したがって、素人が作った曲だとい

っても、何千、何万という曲から選ばれたものであり、当然その質は高いと考えられるのである。曲のことがばかりあげたが、インターネット上の素人の人たちの詞が実に素晴らしい。放送の倫理コードなどとは関係の無い世界なので猥雑、下品かつ残酷、聞くに耐えないような差別語、不快語を含むものも多々あるが、いったいどんなに深い内面的な世界に生きているのかと戦慄を感じさせるようなものもある。特に私が惹

かれるのは、（たぶん）若い人たちの底知れないほどの絶望感、死と孤独、それでもわずかの光を求めようとするギリギリの心境が語られたような歌詞である。

「売れるように」と作られていないから、全く妥協していないのだろう。「アイ・ラブ・ユー」とか、「アイ・ニー・ジュー」とか、そんな安っぽい言葉はどこにもなく、昭和初期が大正に作られた詩の一部や、漢和辞典にしか載っていないような難解な表現が多用されていることもある。

プロと素人、どちらが質の高い仕事ができるかという、普通はプロだと思おうだろう。なんといってもプロは、仕事の質が悪ければ生活できなくなるからだ。またプロは生活のすべてをそこに注ぎ込んでいるから、時間も労力も分散されないと考えられている。

しかし、果たしてそれは正しいのだろうか、インターネット上の音楽を聴いていて疑問に思う。プロは売れる仕事をしなければいけないから、売れ筋を考えて妥協しなければいけない。市場に阿（おもね）る必要がある。また仕事上のつきあいや慣習に従うことも重要になってくる。プロだから音楽にだけ集中していればいい

というわけではない。

素人なら先ほども書いたように市場に妥協する必要がない。仕事上のつきあひもない。慣習とも無縁である。ある程度、時間がとれる生活があれば、素人のほうが長い目で見て、良い仕事ができるかもしれないのである。

私の関心は、同じようなことが音楽以外にも生じうるのかどうか、ということだ。たとえばニュースの解説などは、すでにそういうことが始まっているのではないか。有名新聞社の社説を読むより、その分野に詳しい誰かのブログを読むほうがずっと面白いことがある。プロの解説者が、読者に媚びるような、あるいは新聞社の方針をなぞるようなコメントを流すときに、素人は読者が喜ぶかどうかは意に介さず、自分で集めた資料を基に、自分が重要だと考えることをそのまま書いているからである。

二〇一二年、表面的には去年と変わらないようだが、私たちの社会は根底から変わりつつあると思う。(知)



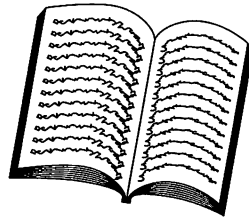
晴れのち晴れ

稲垣 恵雄

■デイ・ケアのOさん

お世話になっているデイサービスセンターの3Fにデイ・ケア室がある。そこにOさんという女性スタッフが働いている。

先日、石田元編集長からプレゼントされた「晴れのち晴れ」の本をOさんに読んでもらった。すると1週間程して彼女から「どの文もリラックスして読むことができました」という感想文をもらった。そのあといろいろ書いてあったが、その中で「人との出会いは単なる出会いではなく、自分の足りない部分を教えてくれる出会いだと思います」という一文があった。私はこれを読んで、Oさんは何と控え目な人だろうかと感心した。そしてこの一文から吉川英治の作品「宮本武蔵」の中で「我以外、皆師である」と書



いておられるのを思い出した。正直、私なんか「自分以外はすべて先生です」とうてい思えないが、作者は「どんな場合でも控え目で謙虚になりなさい」と教えてくれているのだと思う。

Oさんが介護のお仕事をするようになったきっかけは、叔母さんが交通事故に遇われ、外出時には車いすを使用されることになったからだという。

本来ならOさんはキャリアウーマンでバリバリ働く人だそうだが、何がきっかけでどの道に進むか分かりませんね、とも話していた。

私たち利用者にとっては、Oさんのようなやさしくて親切で、その上に誰にでも理解のある人が、今のお仕事をされているということは何よりありがたい。

中村かずみ

家族でアメリカ！ ケンタッキー州滞在記

27

年が開け、両親が会いに来てくれました。

長く世界で仕事をし、私をカリフォルニア州で産んでくれた両親ですから海外旅行はお手の物。チケットの手配も途中の乗換も何も心配いらず、最寄りのブルーグラス空港に定刻到着だったのですが……何やら荷物がトラブル。かの9・11同時多発テロ事件以来、アメリカ合衆国の飛行機に載せる荷物はチェックが厳しく、特にスーツケースはすぐ開けて検査ができる様に鍵をかけてはいけなくなっていたのですが、旅慣れた両親はいつも通りに施錠していて壊され

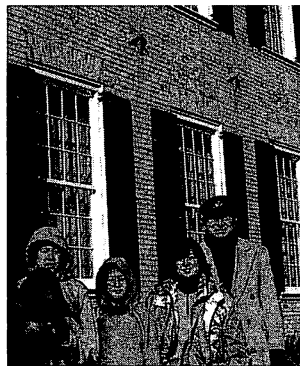
てしまったのでした。これは仕方ありません。幸い中身は全部（お土産の日本食も、子ども達が頼んでいた雑誌やお菓子も）無事でした。

さて初めてのケンタッキー州にご案内です。空港周辺に広がる牧場を抜け、レキシントン市内の私たちのアパートに滞在。時差ぼけの間は昼寝をもらいつつ、お酒好きの父とは近くのワイナリーを訪ねたり、母とは近所のスーパーや子ども達の学校を訪ねたりしました。2時間程ドライブして、米TOYOTAの工場見学にも行きました。

そして週末には、巨大洞窟マンモススケイヴまで一泊旅行です。州内の名所で、その昔ネイティブアメリカンも厳しい冬をそこで過ごしたとか、療養に使われたとか、地質学的にも貴重だとかで、一帯が国立公園に指定されています。でも夏に涼むならともかく、零下10度の続く時期には暗くて寒い地味なところでした（夏ならば、別料金のハードな洞窟探検があったそうぞ残念！）それでも、1台の車に7人が乗ってずっと一緒に過ごすだけでも楽しい時間でした。同じケンタッキー州内なのに、家がある地域とは時差が1時間あるのも興味深かったです（見たいTV番組の放送時間に注意！夜7時くとCMで言うのと



母と。
中央はフォスターの家案内人。
当時の衣装です



フォスターの家にて、
父と子ども達と。
スキーウェアでも
震える程の寒さ



まだクリスマスのトヨタ工場

ずれます)。また、ホテルが国立公園内にあるために飲酒が禁止！パパとおじいちゃんの晩酌は残念ながら、おあずけでした。

途中、リンカーン大統領の生家と「スワニー河」「おおスザンナ」などの曲で有名な作曲家フォスターの家にも行きました。

リンカーンの生家は小さな木造小屋で、保存のため周囲に立派な廟が建てられています。現地小学校ではさすが授業でリンカーンの演説文句を教えていて、「人民の人民による人民のための政治」を英語で“of the people by the people and for the people”と暗唱する当時小5のコウジ。でも最初は皆の言うpeopleがピーポーピーポーと聞こえて、妹のサキと一緒に『救急車のこと?』と思っていたとか。そんな英語力でよく頑張っていたものです。

フォスターハウスでは資産家の豪華な内装や馬車が当時のまま保存されていて見学できます。毎時、庭の時計からフォスターの曲が流れます。

あちこち観光地を訪ね、Kentuckyケンタッキーの字が入った土産ものを両親よりも私たちが買ってしまいました。

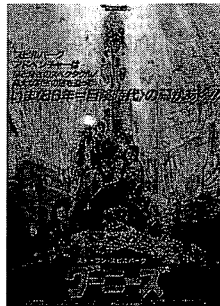
またなんと！近所のステーキレストランが全

米十傑に入る名店だったと発見！皆で食べたアメリカらしいボリューム満点のステーキ、美味しかったです。

米国には慣れている両親もケンタッキー州には知らないことがあれこれあった様で、厳冬の過ごし方や夕食に添える“ピスケット”の正体など楽しんでくれたことと思います。私たち夫婦と孫たちが楽しく元気に暮らしている様子を見届けると、また旅立って行きました。

(クリスマスな映画)

「グーニーズ」(1985年、111分)
7人の子も達が、海賊の宝を探して近所の大洞窟探検で大騒ぎ！洞窟といえばこれを思い出しますけど、海のないケンタッキー州には海賊は出ませんよね。



グーニーズ写真

お知らせ

<サロン・あべの> 2月の出会い

- 内容：折り紙で作る「消えないシャボン玉」と今年の子支「龍」
～簡単なようでやりがいのある作品です～
- お客様：米村金治氏
(大阪市教育委員会インストラクターバンク登録、野と森に遊ぶ文化協会講師、草花クラフト作家)
- 日時：2月18日(土) 午後1時～4時
- 場所：育徳コミュニティーセンター2階、研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
TEL 06-6621-1901]
- 会費：100円(材料費として)
- 申込み：2月10日までに富田までお願いします。
- 問合せ先と申込み先：
TEL 06-6691-1028 (富田慶子)



2月はどのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いませんか。

■「サロン淀川」2月の出会い

日時：2月19日(日)午後1時30分～4時
内容：いろいろな朗読のかたち パート8
「キーワードはさんずい“シ”どんな話なのかワクワクしてきます」
ゲスト：「こもれび」の皆さん
淀川区朗読ボランティアグループ

場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3
会費：なし
問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「サロンにしよど」2月の出会い

日時：2月25日(土)午後1時30分～3時30分
内容：未定
場所：「ふくふく」西淀川在宅センター
会費：なし
問合せ先：中本TEL090-9864-9678

■「サロンにし」2月の出会い

日時：2月25日(土)10時～12時
内容：傾聴を学び対話のロールプレイングを体験しよう！！
ゲスト：ロールプレイング 奥平桂子さん(心理カウンセラー)
会費：なし
場所：西区在宅サービスセンター「にしながほり」
[大阪市西区新町4-5-14、TEL06-6539-8075]
問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973

■サロン「アイ」2月の出会い

日時：2月11日(土)午後1時30分～4時
内容：「まじくるつどい場って何？」
ゲスト：丸尾多重子氏
(NPOつどい場さくらちゃん理事長)

場所：「おかちやま」区社協、2階ボランティアルーム
[大阪市生野区勝山北3-13-20]

会費：なし
問合せ先：生野区社協ボランティアビューロー
TEL06-6712-3101

■「てくてくすみよし」2月の出会い

日時：2月11日(土)11時30分～店の前に集合
内容：「てくてくすみよし」の新年会
場所：難波パークス7階「酉の舞」
会費：2500円(予定)
申込み締切日：2月5日(日)
問合せと申込み先：山本篤江
TEL06-6692-8411
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」2月の出会い

日時：2月5日(日)午後1時30分～4時
内容：「姿勢をよくすれば字が美しく変身！」
～名前をきれいに書こう！～
ゲスト：書家・向井千紅さま
準備：当日、筆記用具、墨、半紙等ご持参ください。
場所：鶴見区民センター3階
[大阪市鶴見区横堤5-3-15]
会費：なし
問合せ先：鶴見区社協(ボランティア・ビューロー)
TEL06-6913-7070

■「サロンいたみ」2月はお休みです。

問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718

サロン・あべの毎月の感謝

○カンパ、大判封筒、宛名シールのご提供、
また一筆箋のお買上げ等の
ありがとうございました。

今西美奈子、大和田弓子、小西京子、
長島伊津子、表谷恵美子、道川内喜美子、
宮崎徹朗、森芳江、その他の方、(敬称略)

<サロン・あべの>Vol.307 発行：平成24年(2012年)1月21日 定価¥100
編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆
事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941
印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212
ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/ 「サロン・あべの」でも検索できます